

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公開番号】特開2010-237583(P2010-237583A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-87598(P2009-87598)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

G 0 3 F 7/032 (2006.01)

C 0 8 F 236/06 (2006.01)

G 0 3 F 7/38 (2006.01)

G 0 3 F 7/36 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/00 5 0 2

G 0 3 F 7/11 5 0 1

G 0 3 F 7/032

C 0 8 F 236/06

G 0 3 F 7/38 5 1 1

G 0 3 F 7/36

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月31日(2011.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本発明は、以下の通りである。

1. 少なくとも支持体 (A)、感光性樹脂層 (B)、赤外線により加工可能な赤外線感受性層 (C) がこの順に積層されてなる水系現像感光性樹脂印刷原版であって、感光性樹脂層 (B) が、親水性重合体 (b 1 (i)) と熱可塑性エラストマー (b 1 (ii)) を各 1 種類以上含むバインダーポリマー (b 1)、エチレン性不飽和化合物 (b 2)、および光重合開始剤 (b 3) を含有しており、赤外線感受性層 (C) が、感光性樹脂層 (B) の現像液に不溶又は可膨潤である 2 種類以上のバインダーポリマー (c 1)、1 種類以上の赤外線吸収物質 (c 3) ならびに非赤外線遮蔽物質 (c 4) を含有しており、バインダーポリマー (c 1) の 1 種類以上が、感光性樹脂層 (B) に含まれるバインダーポリマーのうち少なくとも 1 種類および / または感光性樹脂層 (B) に含まれる低分子量成分のうち少なくとも 1 種類と相溶性を有するバインダーポリマー (c 2) であり、(c 1) および (c 2) が、熱や紫外線によって架橋されないバインダーポリマーであり、感光性樹脂層 (B) に接して赤外線感受性層 (C) が配置されていることを特徴とする水系現像感光性樹脂印刷原版。

2. 前記 (c 1) が、熱分解温度が 190 ~ 250 のアクリル樹脂を含むことを特徴とする上記 1 に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

3. 前記 (c 3) および (c 4) がカーボンブラックであることを特徴とする上記 1 または 2 に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

4. 前記 (b 1 (i)) が、カルボン酸基、アミン若しくはアミノ基、水酸基、リン酸基

、スルホン酸基、およびそれらの塩からなる親水性基から選ばれた１種類以上の基を有することを特徴とする上記１～３のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

５．前記（b 1（i））が水分散性ラテックスであることを特徴とする上記１～４のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

６．前記赤外線感受性層（C）の上に、隣接して剥離可能なカバーフィルム（D）が設けられていることを特徴とする上記１～５のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

７．前記カバーフィルム（D）の表面に、アルキル系化合物および／またはシリコン化合物が塗布されてなることを特徴とする上記６に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

８．前記カバーフィルム（D）が、ポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン、またはこれらの積層体からなるフィルムであることを特徴とする上記６または７に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【手続補正２】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

少なくとも支持体（A）、感光性樹脂層（B）、赤外線により加工可能な赤外線感受性層（C）がこの順に積層されてなる水系現像感光性樹脂印刷原版であって、感光性樹脂層（B）が、親水性重合体（b 1（i））と熱可塑性エラストマー（b 1（ii））を各１種類以上含むバインダーポリマー（b 1）、エチレン性不飽和化合物（b 2）、および光重合開始剤（b 3）を含有しており、赤外線感受性層（C）が、感光性樹脂層（B）の現像液に不溶又は可膨潤である２種類以上のバインダーポリマー（c 1）、１種類以上の赤外線吸収物質（c 3）ならびに非赤外線遮蔽物質（c 4）を含有しており、バインダーポリマー（c 1）の１種類以上が、感光性樹脂層（B）に含まれるバインダーポリマーのうち少なくとも１種類および／または感光性樹脂層（B）に含まれる低分子量成分のうち少なくとも１種類と相溶性を有するバインダーポリマー（c 2）であり、（c 1）および（c 2）が、熱や紫外線によって架橋されないバインダーポリマーであり、感光性樹脂層（B）に接して赤外線感受性層（C）が配置されていることを特徴とする水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項２】

前記（c 1）が、熱分解温度が１９０～２５０ のアクリル樹脂を含むことを特徴とする請求項１に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項３】

前記（c 3）および（c 4）がカーボンブラックであることを特徴とする請求項１または２に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項４】

前記（b 1（i））が、カルボン酸基、アミン若しくはアミノ基、水酸基、リン酸基、スルホン酸基、およびそれらの塩からなる親水性基から選ばれた１種類以上の基を有することを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項５】

前記（b 1（i））が水分散性ラテックスであることを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項６】

前記赤外線感受性層（C）の上に、隣接して剥離可能なカバーフィルム（D）が設けられていることを特徴とする請求項１～５のいずれかに記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項７】

前記カバーフィルム（D）の表面に、アルキル系化合物および／またはシリコン化合物が

塗布されてなることを特徴とする請求項 6 に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。

【請求項 8】

前記カバーフィルム（D）が、ポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン、またはこれらの積層体からなるフィルムであることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の水系現像感光性樹脂印刷原版。